

平成 27 年 4 月 23 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業 H25-27 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1. 実施の経緯及び事業の概要

国土交通省の所管する国営海の中道海浜公園（福岡県福岡市東区）の運営維持管理業務については、公共サービス改革基本方針（平成 23 年 7 月 15 日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて国土交通省は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「H25-27 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

（1）業務内容等

事 項	内 容
業務内容	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務 1) マネジメント 2) 企画運営管理 ②施設・設備維持管理業務 1) 維持修繕・保守点検 2) 清掃 ③植物管理業務 ④動物管理業務 ⑤収益施設等管理運営業務
契約期間	平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの 3 年
受託事業者	H25-27 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務海の中道海浜公園マネジメント共同企業体 代表企業：一般財団法人公園財団 構成企業：ジェイアール九州コンサルタンツ株式会社
契約金額（税抜）	1, 8 4 8, 0 0 0, 0 0 0 円 平成 25 年度：6 1 6, 6 3 0, 0 0 0 円 平成 26 年度：6 1 6, 1 2 4, 0 0 0 円 平成 27 年度：6 1 5, 2 4 6, 0 0 0 円

(2) 実施にあたり確保されるべき質

区分	達成すべき質
包括的な質	<p>公園利用者数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園全体の利用者数：年間 1,918,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 493,000人以上、第2四半期 827,000人以上、 第3四半期 362,000人以上、第4四半期 236,000人以上 パークエリアの利用者数：年間 954,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 264,000人以上、第2四半期 444,000人以上、 第3四半期 168,000人以上、第4四半期 78,000人以上 パークエリアの福岡県外からの利用者の割合：年間21.2%以上 パークエリアの障がい者の年間利用者：12,000人以上 パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者：11,000人以上
	<p>利用者満足度の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の運営に関する利用者の「非常に満足、まあまあ満足」の回答比率：年間95.7%以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 95.7%、第2四半期 95.1%、 第3四半期 96.5%、第4四半期 過去実績データがないため設定なし
	<p>地域特性を生かした植物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模花修景に関する利用者の「非常に満足」の平均回答比率：年間58.7%以上
	<p>多様な利用プログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用プログラムの年間開催回数：117回以上 <ul style="list-style-type: none"> 延べ参加人数：56万4千人以上
	<p>情報受発信</p> <ul style="list-style-type: none"> マスコミの報道件数：年間459件以上 ホームページアクセス件数：年間541,490件以上
個別業務の質	<p>① 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務</p> <p>1) マネジメント</p> <p>多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。</p> <p>また、入園料等の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。</p> <p>2) 企画運営管理</p> <p>公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。</p>
	<p>②施設・設備維持管理業務</p> <p>1)維持修繕・保守点検</p> <p>建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。</p> <p>2)清掃</p> <p>快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内</p>

個別業務の質 (続き)	外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。
	③植物管理業務 本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。
	④動物管理業務 動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うとともに、入園者が動物とふれあえる場を提供すること。
	⑤収益施設等管理運営業務 公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。

2. 受託事業者決定の経緯

入札参加者2者から提出された企画書について審査した結果、いずれも評価基準を満たしていた。平成24年11月22日に開札をした結果、いずれも予定価格の制限の範囲内であったことから、この2者について総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

II 評価

1. 評価方法について

国土交通省から提出された平成25年4月から平成26年12月までの間の実施状況についての報告(別添)に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

2. 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの質についての実施状況

ア 包括的な質

本事業において設定された確保されるべき包括的な質に係る実施状況は次のとおりである。

主要事項	項目	目標値	実施結果	
			平成25年度	平成26年度 (4~12月の 9か月)
公園利用者数の 確保	本公園の年間及び四半期ごとの公園利用者数	年間 1,918,000人以上	2,066,757人	1,741,020人
		第1四半期 493,000人以上	557,741人	559,796人
		第2四半期 827,000人以上	801,442人	787,486人
		第3四半期 362,000人以上	386,026人	393,738人
		第4四半期 236,000人以上	321,548人	—

公園利用者数の確保（続き）	パークエリアの利用者数	年間 954,000 人以上	1,033,000 人	912,155 人
		第1四半期 264,000 人以上	338,131 人	331,510 人
		第2四半期 444,000 人以上	395,135 人	383,326 人
		第3四半期 168,000 人以上	186,968 人	197,319 人
		第4四半期 78,000 人以上	112,766 人	—
	パークエリアにおける福岡県外からの利用者の割合	年間 21.2%以上	20.1%	19.8%
利用者満足度の確保	パークエリアの障がい者の利用者	年間 12,000 人以上	12,033 人	12,550 人
	パークエリアのシルバー層（65歳以上）の利用者	年間 11,000 人以上	28,015 人	24,808 人
地域特性を生かした植物管理	公園の運営に関する利用者の「非常に満足、まあまあ満足」の回答比率	年間 95.7%以上	97.2%	98.3%
		第1四半期 95.7%以上	98.7%	98.2%
		第2四半期 95.1%以上	95.5%	97.9%
		第3四半期 96.5%以上	97.1%	98.8%
多様な利用プログラムの提供	利用プログラムの年間開催回数	年間開催回数：117 回以上	180 回	154 回
	利用プログラムの延べ参加人数	延べ参加人数：568,000 人以上	646,828 人	575,725 人
情報受発信	マスコミの報道件数	年間 459 件以上	642 件	549 件
	ホームページアクセス件数	年間 541,490 件以上	890,072 件	805,035 件

※アンケート調査は、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所が対面式で実施。

イ 個別業務の質

国土交通省の調査職員において、個別業務の質に関する履行確認を行っている。平成 26 年 12 月現在、管理月報により計画通りの履行を確認している。

（2）評価

平成 25 年度については、四半期ごとに設定されている達成すべき質について達成できていない期間が僅かあるものの、概ね達成している。特に、パークエリアのシルバー層（65歳以上）の利用者、多様な利用プログラムの提供、マスコミによる報道件数及びホームページアクセス件数については、目標値を大幅に上回っている。

平成 26 年度においては、平成 25 年度と同様、概ね達成する見込みとなっている。

（3）民間事業者からの提案による改善実施事項

民間事業者からの改善提案に基づき以下の事項が着実に実施されたことから、民間事業者による創意工夫が発揮できたと評価できる。

また、以下の提案については、毎月開催される事業連絡会議（調査職員と受託事業者との定例の意見交換の場）等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。このことは、国土交通省と

受託事業者の間で十分な連携が行われた中で、人が集い、自然と触れ合い、ワクワク感溢れる公園へと展開が図られていると言える。

① 野外活動チャレンジを応援するアウトドアフェスティバル「OUTDOOR PARK IN UMINAKA」の実施 (H26. 9)

カヌー、トレッキング、スポーツ綱渡り、バルーン搭乗体験、BBQ講座などのアウトドアプログラム、乾燥野菜を使った料理、手作りソーセージなどのアウトドアワークショップ、カフェ&アウトドアグッズの販売などの販売プログラム、ユニバーサル・デザイン乗り物試乗体験プログラムといった多彩な野外レクリエーション楽しめるアウトドアフェスティバル「OUTDOOR PARK IN UMINAKA」を、収益事業を中心として実施し、利用者サービスの向上や公園利用者数の増加につながった。

② 命の大切さを知る「動物ふれあいプログラム」の実施 (H25. 4～)

小学生を対象とした、獣医師の仕事を知ってもらう「動物のお医者さんに聞いてみよう!」、大人の癒しをテーマとした「大人のための一日飼育体験」、『カピバラやリスザルの餌やり体験』の定期プログラム化など、動物の命の大切さを知って頂くことや、幅広い世代に多様なふれあいプログラムとして提供することにより、利用者の満足度を高めた。

③ 体験型花修景の展開 (H26. 4～)

「野外劇場」の緩やかな斜面(約4,000m²)に花が咲き乱れる野原を創出し、単に鑑賞するだけでなく、花畑の中に入って「見て・さわって・遊べる」体験型の花修景空間を提供し、利用者の満足度を高めた。

④ 障がいをお持ちの方が公園を満喫できるユニバーサルデザインの取り組み実施 (H25. 4～)

障がいをお持ちの方がより公園を利用できるように専用のサポート窓口を設置し、公園内(動物の森)への団体バス誘導案内の導入、ハートフルアドバイザー資格保有スタッフの指導による「ユニバーサルデザインチェック」や障がいをお持ちの方による「外部モニター調査」を実施し、最大限の改善措置を講じ、利用者の満足度を高めた。

⑤ 九州最大の交通ネットワークと広報チャンネルを活用した広報展開 (H25. 4～)

受託事業者(共同企業体)のネットワークを活用し、九州最大のターミナル駅である博多駅をはじめ、九州圏内主要駅や駅ビル、交通媒体での広報を展開し、本公園情報の露出機会を得たことから幅広い方々の認知度が向上し、公園利用者数の増加につながった。

3. 実施経費に関する評価

契約額(平成25年度～27年度分)は1,848,000千円(税抜)であり、平成25年度における委託費の支払額(契約額と同額)は、616,630千円(税抜)であり、平成24年度の実施経費(民間事業者への支払額)721,859千円(税抜)と比較して、105,229千円(14.6%)の削減となっており、経費の削減が図られていると評価できる。

(参考)

従来費用(A) : 721,859千円(平成24年度実施経費・税抜)

実施経費(B) : 616,630千円(平成25年度実施経費・税抜)

削減額(C) : 105,229千円(A-B)

削減率(C/A×100) = 14.6%

4. 評価のまとめ

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 か年間で総括して見ると、概ね確保されている。平成 26 年度はほとんどの達成目標について、前年度を上回る見込みである。

また、民間事業者の自らの改善提案に基づき、大規模なアウトドアイベントの実施、動物や自然とのふれあいのプログラムの実施などを積極的に導入し、新たなニーズの発掘に取り組み、来園者の増加に寄与していることは、民間事業者の創意工夫が存分に発揮され、当公園の魅力を一層高めたとして評価できる。

実施経費については、14.6%の経費削減が図られており、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

5. 今後の方針

本事業の市場化テストは今期が 1 回目であり、事業全体を通じての実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託民間事業者への業務改善指示等の措置はなく、また法令違反行為等もなかった。
- ② 国土交通省九州地方整備局内に設置されている外部有識者で構成された「国営海の中道海浜公園運営維持管理業務有識者委員会」において、事業実施状況のチェックを受けることとしている。
- ③ 入札において 2 者の応札があり、競争性は確保されていた。
- ④ 確保されるべき公共サービスの質において、ほぼ全ての目標を達成していた。
- ⑤ 経費削減において、従来経費からの削減率 14.6%の効果を上げていた。
- ⑥ 次期事業の実施要項については、従来の実施要項の内容を承継する見込みであり、入札条件等の大幅な見直しの必要はないものである。

また、国土交通省では、次期事業の実施に当たり、これまで以上の質の維持向上と一層の民間事業者の参入促進を目指して、事業実施期間の延長、多客期（4 月～5 月）を考慮した事業開始時期の工夫、業務の引き継ぎ事項の充実、業務評定の導入及び業務実績に関する要件の緩和等さまざまな改善策を講じることとしている。このように弛まない改善を図ることにより、更なる成果が得られるものと考えられる。

以上のことから、本事業については「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅲ. 1 の基準に基づき新プロセスに移行した上で、事業を実施することが適当と考えられる。

以上

平成27年3月13日

国土交通省

民間競争入札実施事業
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務の実施状況について

1. 事業概要**(1) 委託業務内容**

国営海の中道海浜公園（福岡県福岡市東区）における運営維持管理業務

①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

- 1) マネジメント
- 2) 企画運営管理

②施設・設備維持管理業務

- 1) 維持修繕・保守点検
- 2) 清掃

③植物管理業務

④動物管理業務

⑤収益施設等管理運営業務

(2) 業務委託期間

平成25年4月1日から平成28年3月31日まで（3か年）

(3) 受託事業者

H25-27 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務海の中道海浜公園マネジメント共同企業体

代表企業：一般財団法人公園財団

構成企業：ジェイアール九州コンサルタンツ株式会社

(4) 受託事業者決定の経緯

「H25-27 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、入札参加者（2者）から提出された企画書について審査した結果、いずれも評価基準を満たしていた。入札価格については、平成24年11月22日に開札した結果、2者が予定価格の範囲内であったことから、この2者について総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

2. サービスの質の達成状況等（平成25年4月分～平成26年12月分）

本業務においては、実施要項により、サービスの質として、「包括的な質」と「個別業務の質」を設定しているところである。

このサービスの質について達成状況を確認するため、実施要項に記載された方法により実施したモニタリング調査の結果等について報告する。

(1) 包括的な質

1) 公園利用者数の確保

① 公園全体の年間及び四半期毎の利用者

ア 達成すべき質

- ・公園年間利用者：191万8千人以上
第1四半期49万3千人、第2四半期82万7千人、
第3四半期36万2千人、第4四半期23万6千人以上

イ 結果

- ・達成状況は、表1のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- ・平成25年度は、第2四半期で目標を下回っていたが、年間の達成すべき質は確保された。
- ・平成26年度は、第2四半期の目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、適正に業務を行うよう調査職員は受託事業者に指導を行った。受託事業者は、主な要因として、8月期の記録的な日照不足・多雨・低温からサンシャインプールの利用者が平成21～23年度の平均に比べて約9万人の大幅減となったことを挙げた上で、業務改善計画書において「動物ふれあいDAY」の開催日数の倍増、マリンワールド（水族館）と動物の森の相互利用促進イベント（スタンプラリー）の開催企画や、広報活動の強化として「はなまつり」特別チラシの発行（公園無料日の再告知等）などを計画・提案した。計画について調査職員が内容を承諾した上で、受託事業者が適切に実施した結果、第4四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される。

表1 公園利用者数の確保（全体）

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	利用者数	達成率	利用者数	達成率
年間：1,918,000人以上	2,066,757人	108%	1,741,020人	91% ³⁾
第1四半期：493,000人以上	557,741人	113%	559,796人	114%
第2四半期：827,000人以上	801,442人	97%	787,486人	95%
第3四半期：362,000人以上	386,026人	107%	393,738人	109%
第4四半期：236,000人以上	321,548人	136%	—	—

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

3) 第3四半期までの達成率

②パークエリアの年間及び四半期毎の利用者

ア 達成すべき質

- ・パークエリアの年間利用者：95万4千人以上
第1四半期26万4千人、第2四半期44万4千人、
第3四半期16万8千人、第4四半期7万8千人以上

イ 結果

- ・達成状況は、表2のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- ・平成25年度は、第2四半期で目標を下回っていたが、年間の達成すべき質は確保された。
- ・平成26年度は、第2四半期は目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、適正に業務を行うよう調査職員は受託事業者に指導を行った。受託事業者は、主な要因として、8月期の記録的な日照不足・多雨・低温からサンシャインプールの利用者が平成21～23年度の平均に比べて約9万人の大幅減となったことを挙げた上で、業務改善計画書において「動物ふれあいDAY」の開催日数の倍増、マリンワールド（水族館）と動物の森の相互利用促進イベント

(スタンプラリー)の開催企画や、広報活動の強化として「はなまつり」特別チラシの発行(公園無料日の再告知等)などを計画・提案した。計画について調査職員が内容を承諾した上で、受託事業者が適切に実施した結果、第4四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される。

表2 公園利用者数の確保(パークエリア)

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	利用者数	達成率	利用者数	達成率
年間：954,000人以上	1,033,000人	108%	912,155人	96% ³⁾
第1四半期：264,000人以上	338,131人	128%	331,510人	126%
第2四半期：444,000人以上	395,135人	89%	383,326人	86%
第3四半期：168,000人以上	186,968人	111%	197,319人	117%
第4四半期：78,000人以上	112,766人	145%	—	—

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

③ パークエリアの福岡県外からの利用者の割合

ア 達成すべき質

- ・パークエリアにおける福岡県外からの利用者の割合：年間21.2%以上

イ 結果

- ・達成状況は、表3のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。
- ・平成25年度は、目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、適切に業務を行うよう調査職員は受託事業者に対して業務の改善の指示を行った。受託事業者は、主な要因として、パークエリアの利用者は目標を大きく上回ったが、春期のフラワーピクニックの県外への広報不足、台風によりコスモスの被害を受けたことからTVや新聞等のマスコミへの露出機会が減少し、広域からの利用促進が図ることが出来なかったことを挙げ、業務改善計画書において、県外(特に隣接県)への広報拡充を計画し、調査職員が内容を承諾した。
- ・平成26年度は、12月末までのパークエリアにおける福岡県外からの利用者割合は前年度を上回っており、年間の達成すべき質の確保が期待される。

表3 公園利用者数の確保(パークエリアの福岡県外からの利用者の割合)

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	福岡県外利用者割合	達成率	福岡県外利用者割合	達成率
年間：21.2%人以上	20.1%	95%	19.8%	93% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率
- 4) アンケート調査月：4・8・10・2月、アンケート母数：3,881人(H25)、3,615人(H26)

④ パークエリアの障がい者の年間利用者

ア 達成すべき質

- ・パークエリアの障がい者の年間利用者：1万2千人以上

イ 結果

- ・達成状況は、表4のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表4 公園利用者数の確保（パークエリアの障がい者の年間利用者）

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	利用者数	達成率	利用者数	達成率
年間：12,000人以上	12,033人	100%	12,550人	105% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

⑤パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者

ア 達成すべき質

- ・パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者：1万1千人以上

イ 結果

- ・達成状況は、表5のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表5 公園利用者数の確保（パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者）

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	利用者数	達成率	利用者数	達成率
年間：11,000人以上	28,015人	255%	24,808人	226% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

2) 利用者満足度の確保

ア 達成すべき質

- ・公園の運営に関する利用者の「非常に満足、まあまあ満足」の回答比率：年間95.7%以上
第1四半期95.7%以上、第2四半期95.1%以上、第3四半期96.5%以上
なお、第4四半期は過去実績データが無いため目標設定無し。

イ 結果

- ・達成状況は、表6のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。

表6 公園の運営に関する利用者満足度

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	満足度	達成率	満足度	達成率
年間：95.7%以上	97.2%	102%	98.3%	103% ³⁾
第1四半期：95.7%以上	98.7%	103%	98.2%	103%
第2四半期：95.1%以上	95.5%	100%	97.9%	103%
第3四半期：96.5%以上	97.1%	101%	98.8%	102%
第4四半期：設定無し	97.3%	—	—	—

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月末の期間
- 3) 第3四半期までの達成率
- 4) アンケート調査は、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所が対面式で実施
- 5) アンケート調査は、四半期毎に、無料開園日等の特異日を除く平日、休日に各1回ずつを基本として実施（調査月：4・8・10・2月）
- 6) アンケート有効回答数：平成25年度3,880回答、平成26年度3,560回答（H26年12月31日まで）

3) 地域特性を活かした植物管理

ア 達成すべき質

- ・大規模花修景に関する利用者の「非常に満足」の平均回答比率：年間58.7%以上

イ 結果

- ・達成状況は、表7のとおりであり、達成すべき質は概ね確保されている。

表7 大規模花修景の満足度「非常に満足」の回答比率

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	満足度	達成率	満足度	達成率
58.7%以上	70.8%	121%	70.7%	120%

- 1) 平成25年度及び平成26年度はともに4月中旬～5月上旬の期間に実施
- 2) アンケート調査は、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所が対面式で実施
- 3) アンケート調査は、無料開園日などの特異日を除く平日、休日を基本として7日間実施
- 4) アンケート有効回答数：平成25年度1,690回答、平成26年度1,644回答

4) 多様な利用プログラムの提供

ア 達成すべき質

- ・利用プログラムの年間開催回数：117回以上
延べ参加人数：56万4千人以上

イ 結果

- ・達成状況は、表8のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表8 多様な利用プログラム開催数と参加人数

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	実績値	達成率	実績値	達成率
年間開催回数：117回以上	180回	154%	154回	132% ³⁾
延べ参加人数：568,000人以上	646,828人	114%	575,725人	101% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

5) 情報受発信の充実

①マスコミによる報道件数

ア 達成すべき質

- ・マスコミの報道件数：年間459件以上

イ 結果

- ・達成状況は、表9のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表9 マスコミによる報道件数

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	件数	達成率	件数	達成率
年間459件以上	642件	140%	549件	120% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

②ホームページアクセス件数

ア 達成すべき質

- ・ホームページアクセス件数：年間541,490件以上

イ 結果

- ・達成状況は、表10のとおりであり、達成すべき質は確保されている。

表10 ホームページアクセス件数

達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
	件数	達成率	件数	達成率
年間541,490件以上	890,072件	164%	805,035件	149% ³⁾

- 1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間
- 2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間
- 3) 第3四半期までの達成率

(2) 個別業務の質

ア 達成すべき質

以下に示す個別業務の質を確保すること。

① 本業務全体の企画立案及びマネジメント業務

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。

また、入園料等の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。

② 企画運営管理業務

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。

③ 施設・設備維持管理業務

1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。

2) 清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。

④ 植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。

⑤ 動物管理業務

動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うとともに、入園者が動物とふれあえる場を提供すること。

⑥ 収益施設等管理運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。

イ 結果

個別業務の質に関する履行確認は、実施要項等に定められたモニタリング方法（管理月報等の確認）によって、運営維持管理業者からの提案事業を含めて、調査職員が書面及び現地立ち会いにより実施している。平成 26 年 12 月末時点で、受託事業者から調査職員に対して適切に管理月報等が提出されており、調査職員により質の確保がされていることを確認した。

3. 実施経費の状況

(1) 公共サービスの実施に要した経費

	平成 25 年度～平成 27 年度	(参考)平成 24 年度実績
契約額 (税抜き)	平成 25 年度： 616,630,000 円 ¹⁾ 平成 26 年度： 616,124,000 円 平成 27 年度： 615,246,000 円 3 箇年度合計：1,848,000,000 円	721,859,000 円
削減効果	▲105,229,000 円 (▲14.6%) ²⁾	
供用面積	293.5ha	292.0ha
備考	平成 25 年 4 月樹林と文化・いこいの広場追加供用 (1.5ha、中央駐車場C)	

1) 平成 25 年度における委託費の支払額は、平成 24 年度分に係る契約額と同額である。

2) 平成 25 年度の削減額及び削減割合 (対平成 24 年度)

注) 管理面積等の前提条件が異なるため、単純比較はできない。

4. 受託事業者からの提案による実施事項

受託事業者からは、企画提案時及び業務を履行するなかで、以下のようなサービス向上のための提案が出されており、これらの提案については、毎月開催される定例打合せ (国職員と受託事業者との定例の意見交換の場) 等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。

<主な実施状況>

・野外活動チャレンジを応援するアウトドアフェスティバル「OUTDOOR PARK IN UMINAKA」の実施 (H26. 9)

カヌー、トレッキング、スポーツ綱渡り、バルーン搭乗体験、B B Q 講座などのアウトドアプログラム、乾燥野菜を使った料理、手作りソーセージなどのアウトドアワークショップ、カフェ&アウトドアグッズの販売などの販売プログラム、ユニバーサル・デザイン乗り物試乗体験プログラムといった多彩な野外レクリエーション楽しめるアウトドアフェスティバル「OUTDOOR PARK IN UMINAKA」を、収益事業を中心として実施し、利用者サービスの向上や公園利用者数の増加につながった。

・命の大切さを知る「動物ふれあいプログラム」の実施 (H25. 4～)

小学生を対象とした、獣医師の仕事を知ってもらう「動物のお医者さんに聞いてみよう!」、大人の癒しをテーマとした「大人のための一日飼育体験」、『カピバラやリスザルの餌やり体験』の定期プログラム化など、動物の命の大切さを知って頂くことや、幅広い世代に多様なふれあいプログラムとして提供することにより、利用者の満足度を高めた。

・体験型花修景の展開 (H26. 4～)

「野外劇場」の緩やかな斜面 (約 4,000m²) に花が咲き乱れる野原を創出し、単に鑑賞するだけでなく、花畑の中に入って「見て・さわって・遊べる」体験型の花修景空間を提供し、利用者の満足度を高めた。

・障がいをお持ちの方が公園を満喫できるユニバーサルデザインの取り組み実施 (H25. 4～)

障がいをお持ちの方がより公園を利用できるように専用のサポート窓口を設置し、公園内 (動物の森) への団体バス誘導案内の導入、ハートフルアドバイザー資格保有スタッフの指導による「ユニバーサルデザインチェック」や障がいをお持ちの方による「外部モニター調査」を実施し、最大限の改善措置を講じ、利用者の満足度を高めた。

・九州最大の交通ネットワークと広報チャンネルを活用した広報展開 (H25. 4～)

受託事業者 (共同企業体) のネットワークを活用し、九州最大のターミナル駅である博多駅をはじめ、九州圏内主要駅や駅ビル、交通媒体での広報を展開し、本公園情報の露出機会を得たことから幅広い方々の認知度が向上し、公園利用者数の増加につながった。

5. 総評

(1) 海の中道海浜公園における運営維持管理業務の実施内容に関する評価

包括的な質については、天候不順や広報不足等により目標を達成しなかった四半期があったものの、受託事業者は実施要項に基づき業務改善計画書を提出し、適切に業務を実施して年間目標を達成するなど、達成すべき質は概ね達成されている。

また、毎月開催する連絡会議の場で調査職員と調整しつつ各種改善を行うことにより、平成26年度の達成水準が前年度を上回るなど、受託事業者のノウハウを活かしたサービスの提供等にも努めており、サービス水準の向上につながっていると評価できる。

特に、『光と風の広場』において野外活動へのチャレンジを応援する新規イベントであるアウトドアフェスティバル「OUTDOOR PARK IN UMINAKA」の実施、またオールシーズン花を楽しめる「うみなか花リレー」を展開し、四季を通じて魅力ある花修景に取り組み、その他各種イベント及び広報を積極的に導入した結果、新たなニーズの発掘に取り組み、当該行催事期間中の来園者の増加に寄与し、海の中道海浜公園の魅力を一層高めている点が評価できる。

(2) 次期業務の実施に当たっての方針

民間競争入札の実施により、2者による競争が行われ、実施経費の削減(▲14.6%)ができた。また、達成すべき質も概ね達成されており、業務に係る法令違反や競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第27条に基づく業務改善指示が必要とされる状況はなかった。これらを総合的に判断すると、本業務は民間競争入札によって良好な実施結果が得られたと認められ、さらに、実施状況について外部の有識者によるチェック体制を備えていることなどから、次期業務においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針(平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会)」に基づき、終了プロセス(又は新プロセス)へ移行した上で業務を実施することとしたい。

なお、次期業務の実施に当たっては、本業務の実施結果や、他公園における運営維持管理業務の実施状況等を踏まえ、手続の簡素化等を図るとともに、国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進等のため、下記の改善を図る予定である。

1) 業務実施期間

- ① 国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進を図る観点から、業務期間を現在の3箇年から4箇年に延長する。
- ② 次々期受託事業者が、業務開始から多客期(4～5月のGW等)までの間に十分な経験を積めるよう、次期業務期間を1月末まで(次々期業務開始を2月から)とする。

2) 業務の引き継ぎ

次々期受託事業者へ引き継ぎを行う際に、必要な情報を円滑かつ適正に引き継げるよう、引き継ぎ事項を更に明確化する。

3) 業務評定の導入

包括的な質の達成及び業務の確実な履行を促す観点から、次期事業から業務評定を導入し、その結果を次々期業務の入札時における評価に反映させる。

4) 企業及び配置予定者の業務実績に関する要件の緩和

入札参加資格に関する事項について、業務実績は過去10年の同種又は類似業務の経験を有することとしているが、その期間を過去15年に緩和する。

《別紙：包括的な質の実施状況》

1. 公園利用者数の確保

① 公園全体の年間及び四半期毎の利用者

【平成 25 年度】

・年間累計利用者数：2,066,757 人（達成すべき質は確保）

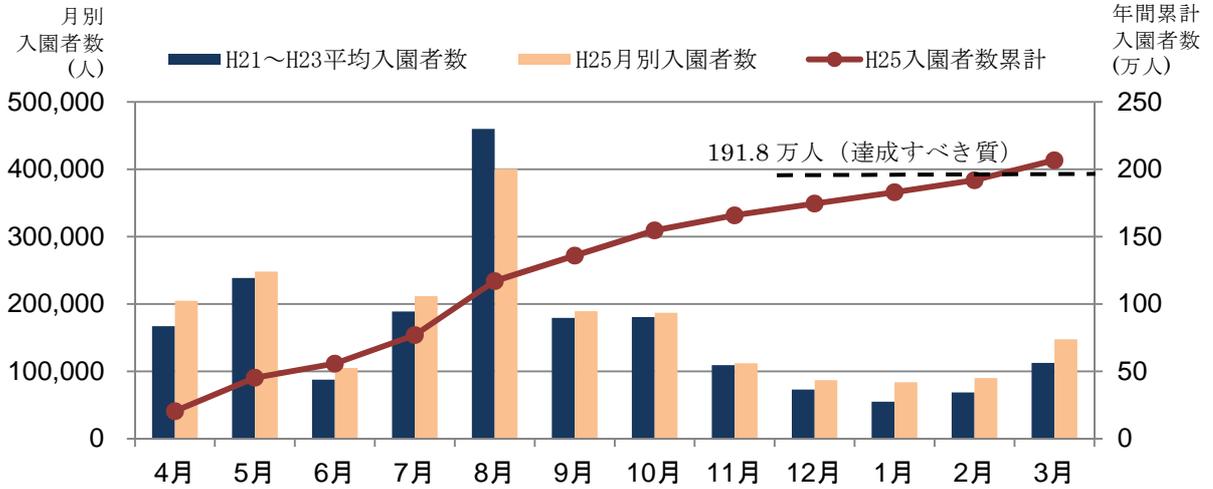


表 公園全体の年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
公園全体の年間利用者数(人)	204,769	248,112	104,860	211,624	400,605	189,213	186,899	112,090	87,037	83,910	89,959	147,679	2,066,757

【平成 26 年度(12 月末まで)】

・年間累計利用者数：1,741,020 人（残 3 ヶ月）

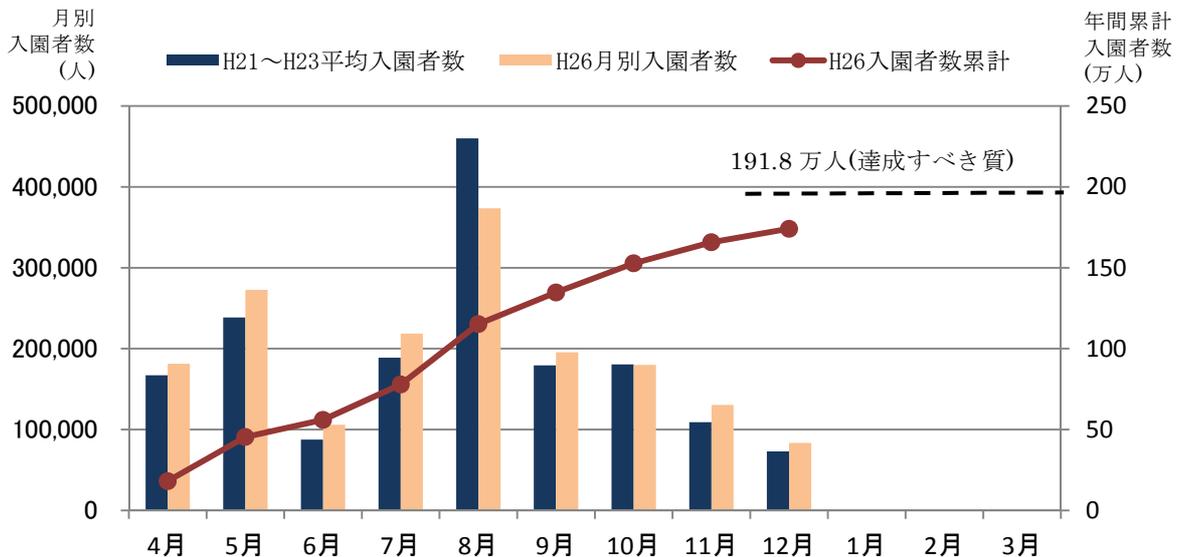


表 公園全体の年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
公園全体の年間利用者数(人)	181,264	272,637	105,895	218,515	373,554	195,417	179,983	130,328	83,427				1,741,020

② パークエリアの年間及び四半期毎の利用者

【平成 25 年度】

・年間累計利用者数：1,033,000 人（達成すべき質は確保）

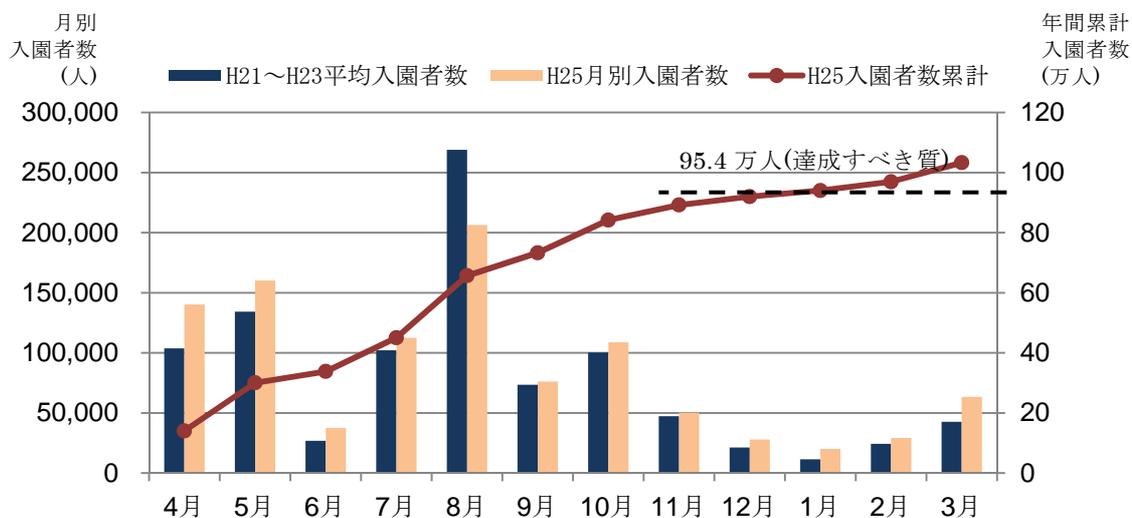


表 パークエリアの年間及び四半期毎の利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
公園全体の年間利用者数(人)	140,278	160,184	37,669	112,533	206,418	76,184	108,814	50,207	27,947	20,156	29,212	63,398	1,033,000

【平成 26 年度(12 月末まで)】

・年間累計利用者数：912,155 人（残 3 ヶ月）

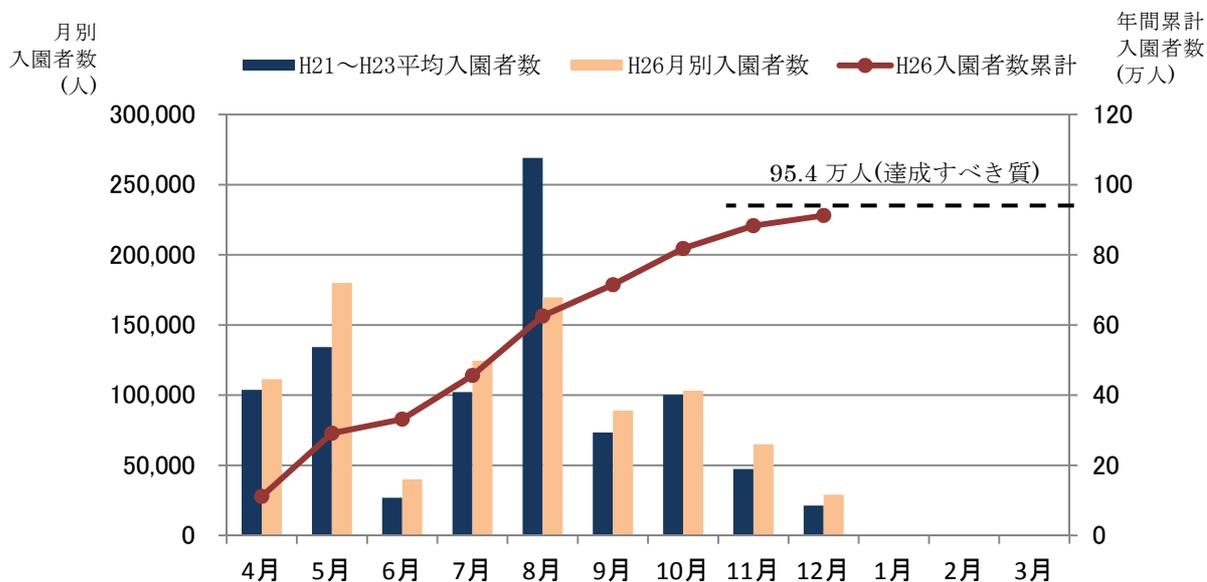


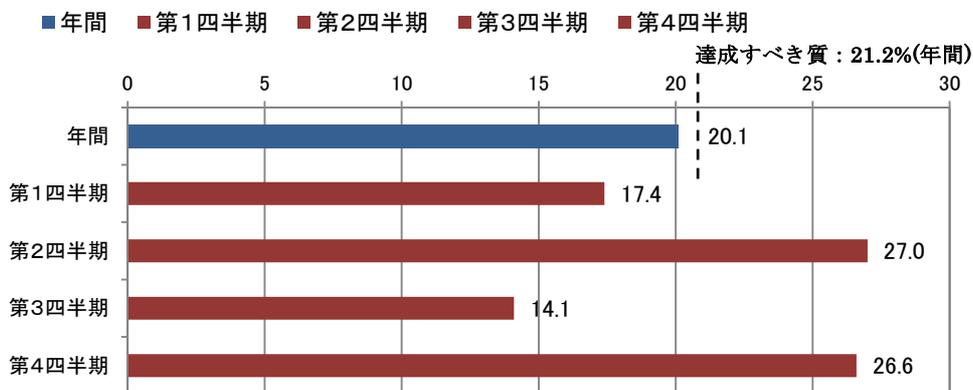
表 パークエリアの年間及び四半期毎の利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
公園全体の年間利用者数(人)	111,404	180,048	40,058	124,621	169,679	89,026	103,231	65,007	29,081				912,155

③ パークエリアの福岡県外からの利用者の割合

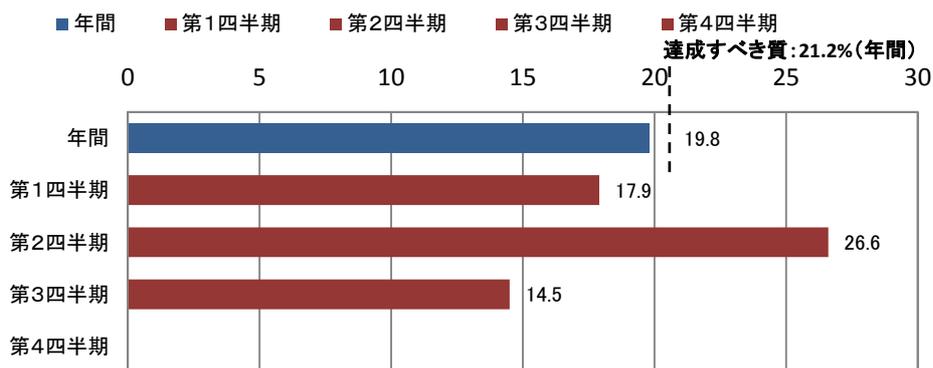
【平成 25 年度】

- ・年間 : 20.1%
- 第1四半期 : 17.4%
- 第2四半期 : 27.0%
- 第3四半期 : 14.1%
- 第4四半期 : 26.6%



【平成 26 年度 (12 月末まで)】

- ・年間 : 19.8% (残 3 ヶ月)
- 第1四半期 : 17.9%
- 第2四半期 : 26.6%
- 第3四半期 : 14.5%
- 第4四半期 : (残り 3 ヶ月)



④ パークエリアの障がい者の年間利用者

【平成 25 年度】

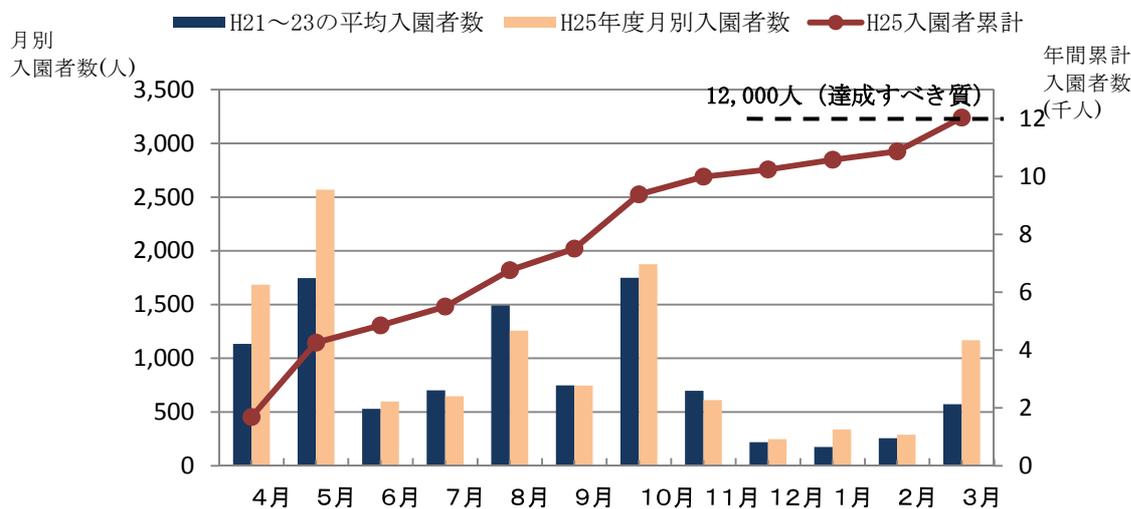
・年間 : 12,033 人 (達成すべき質を確保)

第1 四半期 : 4,853 人

第2 四半期 : 2,650 人

第3 四半期 : 2,735 人

第4 四半期 : 1,795 人



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年間利用者数 (人)	1,686	2,569	598	647	1,257	746	1,875	612	248	338	289	1,168	12,033

【平成 26 年度 (12 月末まで)】

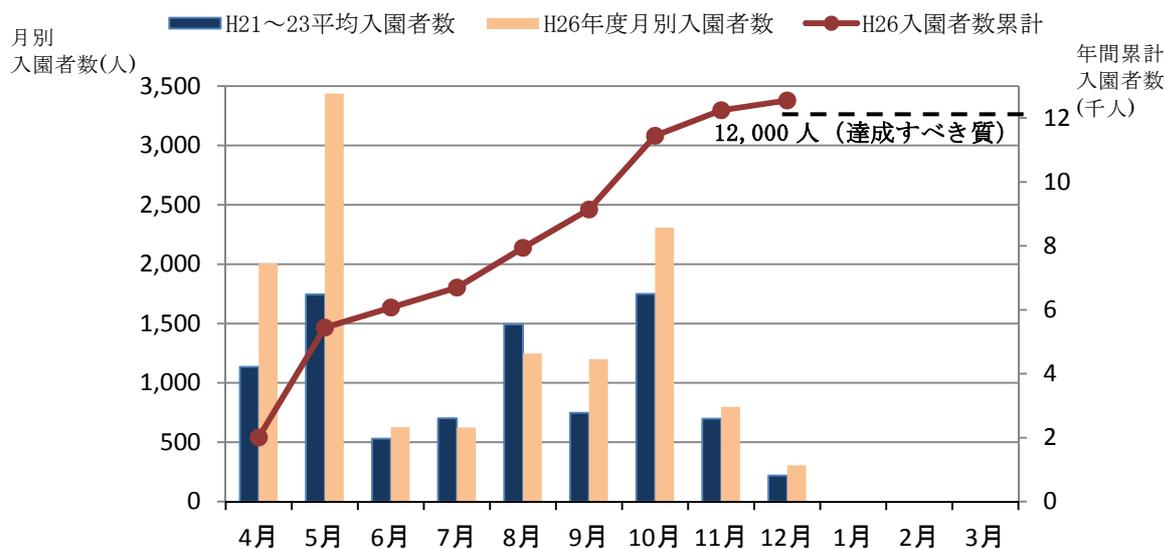
・年間 : 12,550 人 (残 3 ヶ月)

第1 四半期 : 6,070 人

第2 四半期 : 3,069 人

第3 四半期 : 3,411 人

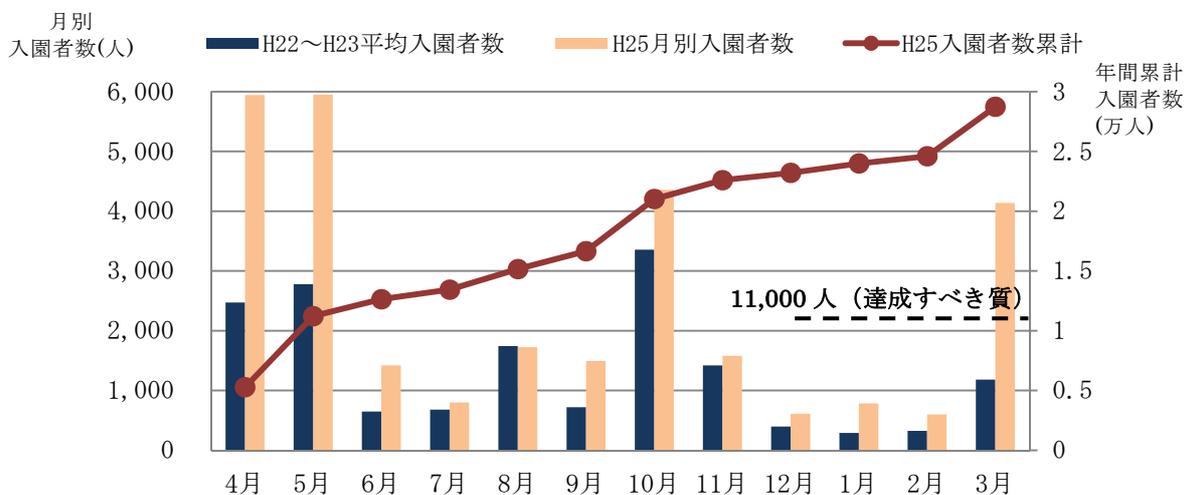
第4 四半期 : (残り 3 ヶ月)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年間利用者数 (人)	2,006	3,437	627	624	1,246	1,199	2,307	798	306				12,550

⑤ パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者
【平成25年度】

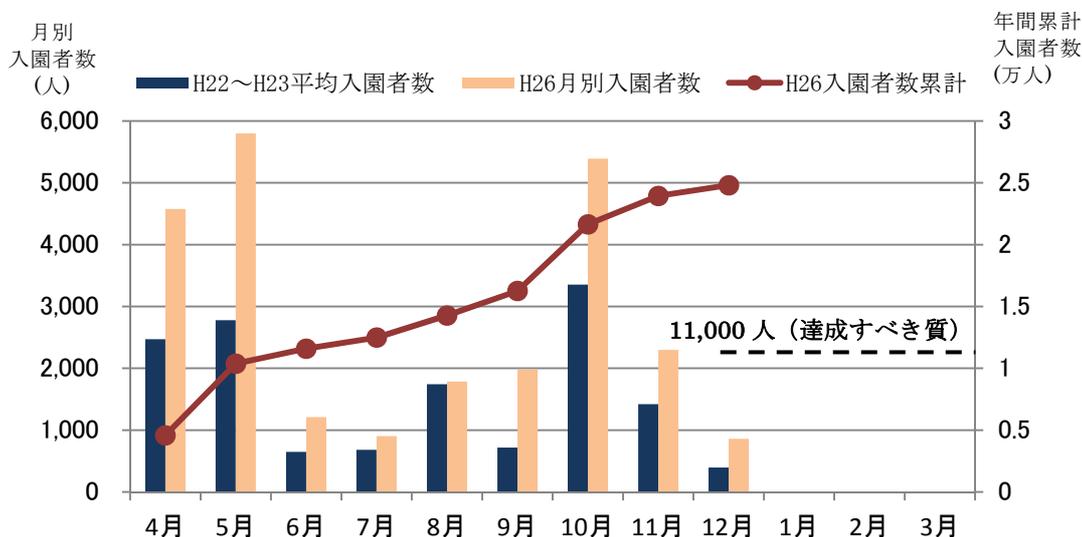
・年間累計利用者数：28,015人（達成すべき質は確保）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
年間利用者数(人)	5,942	5,947	1,420	800	1,723	1,495	4,358	1,580	611	784	599	2,756	28,015

【平成26年度(12月末まで)】

・年間累計利用者数：24,808人（残り3ヶ月）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
年間利用者数(人)	4,578	5,798	1,211	903	1,786	1,980	5,392	2,299	861				24,808

2. 利用者満足度の確保

公園の運営に関する利用者の「非常に満足、まあまあ満足」の回答比率【平成 25 年度】

- ・平日、祝日に分け四半期ごとに実施。
- ・「非常に満足、まあまあ満足」の割合は

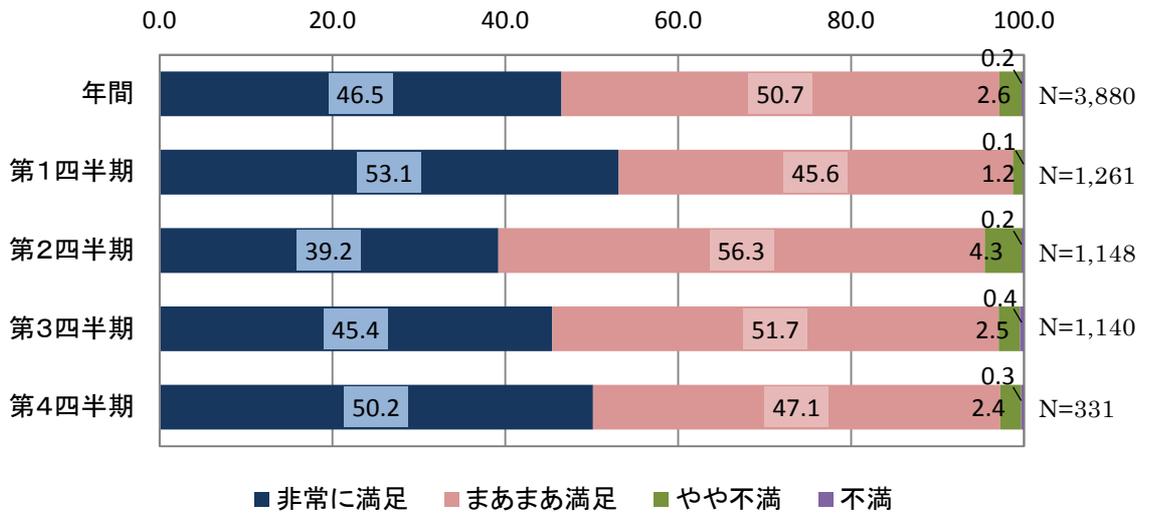
年間 : 97.2% (達成すべき質は確保)

第1四半期 : 98.7% (達成すべき質は確保)

第2四半期 : 95.5% (達成すべき質は確保)

第3四半期 : 97.1% (達成すべき質は確保)

第4四半期 : 97.3% (設定なし)



調査月	非常に満足+まあまあ満足 (%)
4月	平日: 97.4%
	休日: 99.4%
第1四半期	98.7%
8月	平日: 94.2%
	休日: 96.3%
第2四半期	95.5%
10月	平日: 97.4%
	休日: 96.9%
第3四半期	97.1%
2月	平日: 97.2%
	休日: 97.3%
第4四半期	97.3%
年間	97.2%

【平成 26 年度(12 月末まで)】

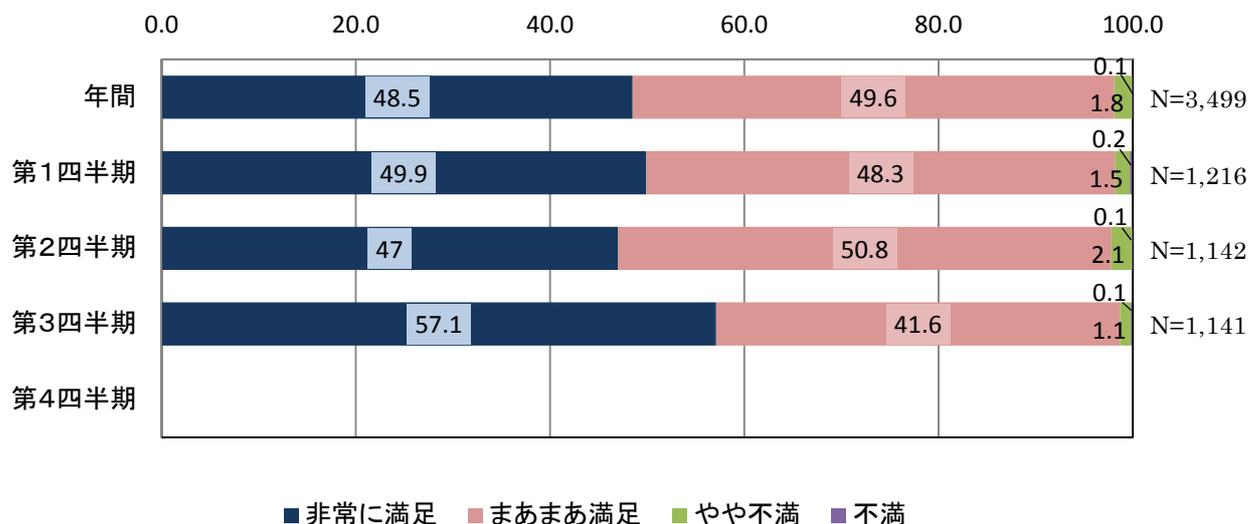
- ・平日、祝日に分け四半期ごとに実施。
- ・「非常に満足、まあまあ満足」の割合は、

年間 : 98.3% (残り 3 ヶ月)

第 1 四半期 : 98.2% (達成すべき質は確保)

第 2 四半期 : 97.9% (達成すべき質は確保)

第 3 四半期 : 98.8% (達成すべき質は確保)



調査月	非常に満足+まあまあ満足
4 月	平日 96.5%
	休日 99.0%
第 1 四半期	98.2%
8 月	平日 97.3%
	休日 98.2%
第 2 四半期	97.9%
10 月	平日 98.6%
	休日 98.9%
第 3 四半期	98.8%
第 4 四半期	平日
	休日
年間	98.3%

3. 地域特性を活かした植物管理

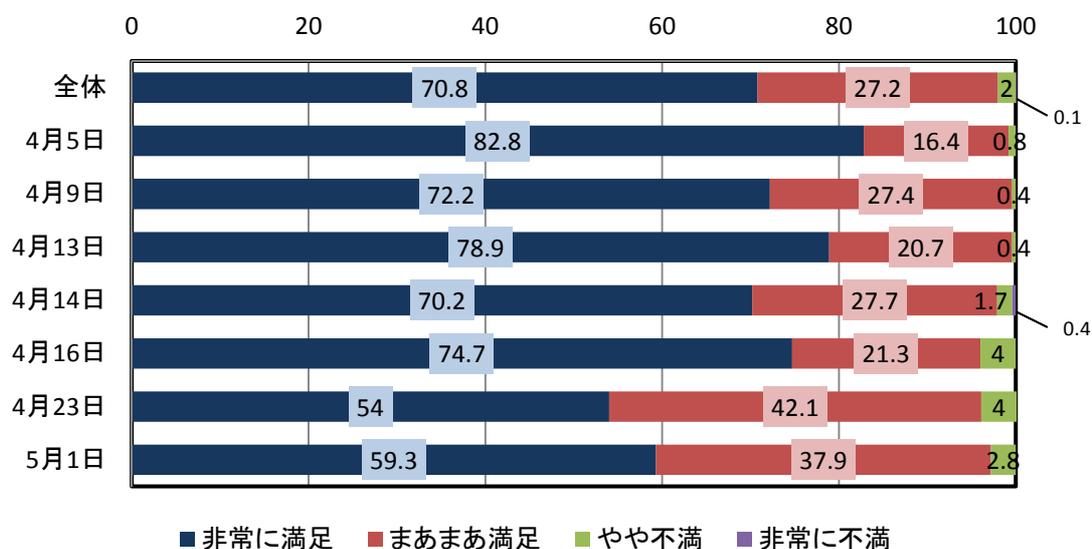
大規模花修景に関する利用者の「非常に満足」の平均回答率

【平成 25 年度】

・ 4 月中旬から 5 月上旬に延べ 7 日間実施。

・ 調査日別「非常に満足」の割合は、
全体 : 70.8% (達成すべき質は確保)

4 月 5 日 (金)	: 82.8%	4 月 16 日 (火)	: 74.7%
4 月 9 日 (火)	: 72.2%	4 月 23 日 (火)	: 54.0%
4 月 13 日 (土)	: 78.9%	5 月 1 日 (水)	: 59.3%
4 月 14 日 (日)	: 70.2%		



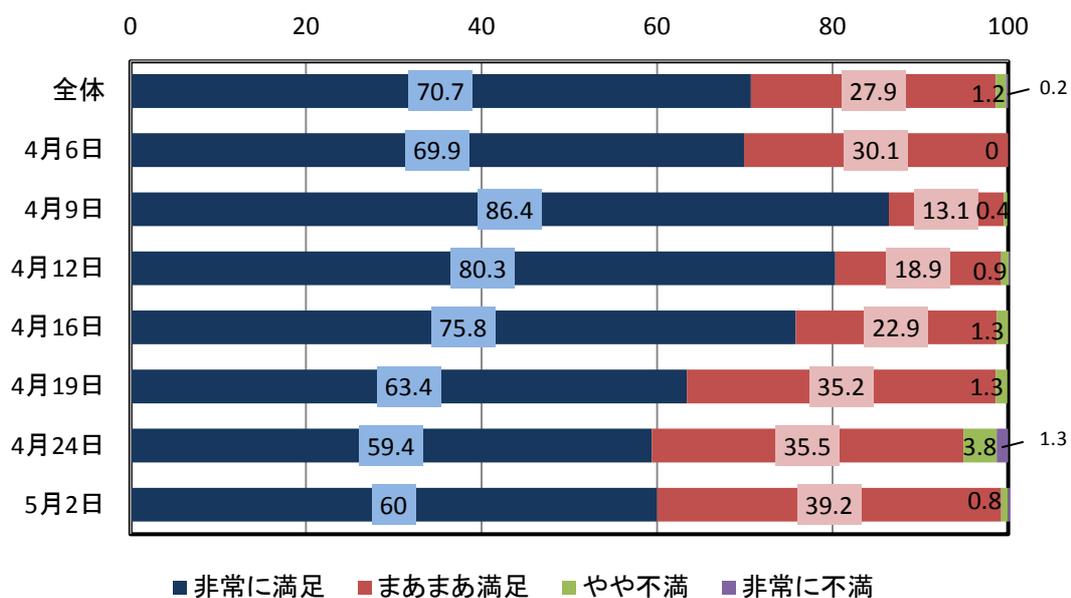
調査日	非常に満足
4 月 5 日 (金)	82.8%
4 月 9 日 (火)	72.2%
4 月 13 日 (土)	78.9%
4 月 14 日 (日)	70.2%
4 月 16 日 (火)	74.7%
4 月 23 日 (火)	54.0%
5 月 1 日 (水)	59.3%
全体	70.8%

【平成 26 年度】

- ・ 4月中旬から5月上旬に延べ7日間実施
- ・ 調査日別「非常に満足」の割合は、

全体 : 70.7% (達成すべき質は確保)

4月6日(日)	: 69.9%	4月19日(土)	: 63.4%
4月9日(水)	: 86.4%	4月24日(木)	: 59.4%
4月12日(土)	: 80.3%	5月2日(金)	: 60.0%
4月16日(水)	: 75.8%		

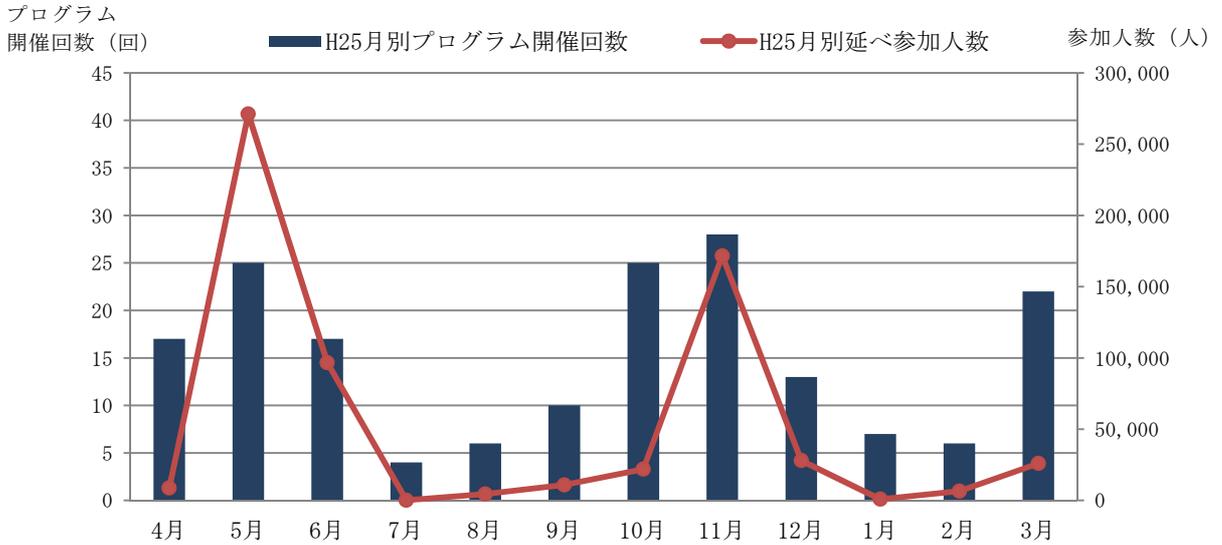


調査日	非常に満足
4月6日(日)	69.9%
4月9日(水)	86.4%
4月12日(土)	80.3%
4月16日(水)	75.8%
4月19日(土)	63.4%
4月24日(土)	59.4%
5月2日(金)	60.0%
全体	70.8%

4. 多様な利用プログラムの提供 利用プログラム年間開催回数

【平成 25 年度】

- ・ 年間開催回数 : 180 回 (達成すべき質は確保)
- ・ 延べ参加人数 : 646,828 人 (達成すべき質は確保)

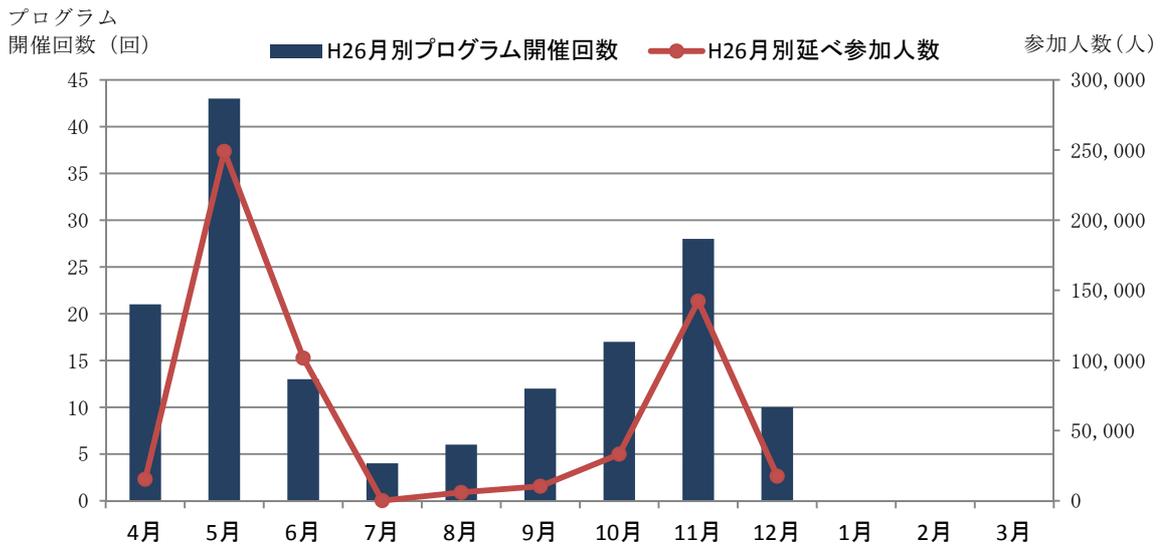


表：月別開催回数と参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
プログラム開催回数	17	25	17	4	6	10	25	28	13	7	6	22	180 回
参加人数	8,733	271,129	96,652	126	4,491	10,868	21,939	171,599	27,966	890	6,497	25,938	646,828 人

【平均 26 年度 (12 月末まで)】

- ・ 年間開催回数 : 154 回 (残り 3 ヶ月)
- ・ 延べ参加人数 : 575,725 人 (残り 3 ヶ月)



表：月別開催回数と参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
プログラム開催回数	21	43	13	4	6	12	17	28	10				154 回
参加人数	15,420	249,034	101,686	100	5,980	10,378	33,233	142,378	17,516				575,725 人

5. 情報発信の充実

ホームページのアクセス数とマスコミによる報道件数

【平成 25 年度】

- ・ ホームページアクセス件数：890,072 件（達成すべき質は確保）
- ・ マスコミ報道件数：642 件（達成すべき質は確保）

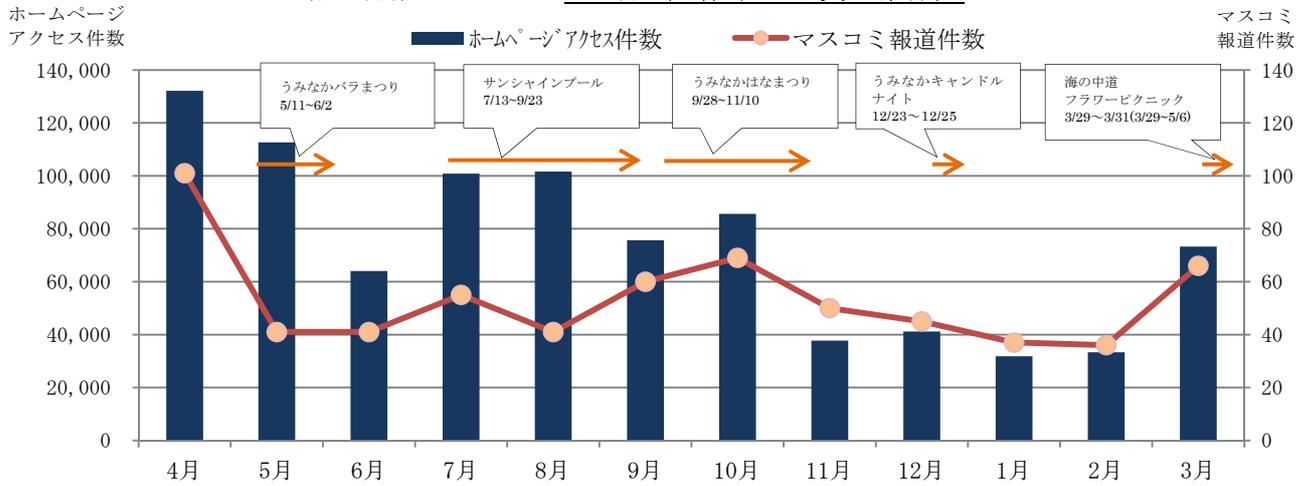


図 ホームページアクセス件数とマスコミ報道件数、利用者数の推移

表 月別ホームページアクセス件数とマスコミ報道件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホームページアクセス件数	132,160	112,688	64,069	100,839	101,601	75,685	85,652	37,741	41,241	31,813	33,362	73,248	890,072 件
マスコミ報道件数	101	41	41	55	41	60	69	50	45	37	36	66	642 件

【平成 26 年度(12 月末まで)】

- ・ ホームページアクセス件数：805,035 件（残り 3 ヶ月）
- ・ マスコミ報道件数：549 件（残り 3 ヶ月）

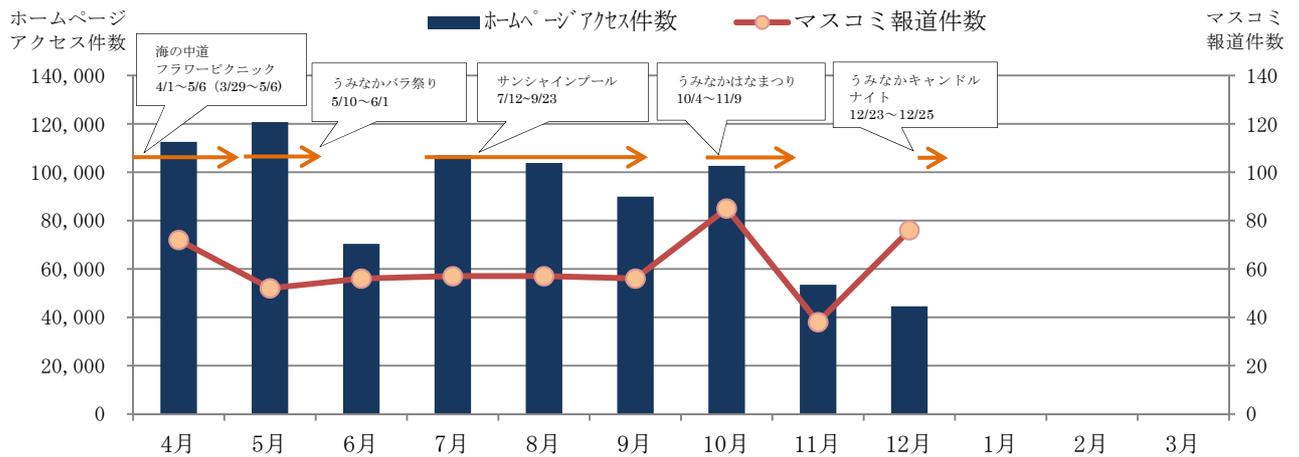


図 ホームページアクセス件数とマスコミ報道件数、利用者数の推移

表 月別ホームページアクセス件数とマスコミ報道件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホームページアクセス件数	112,542	120,747	70,379	106,991	103,818	89,894	102,627	53,474	44,563				805,035 件
マスコミ報道件数	72	52	56	57	57	56	85	38	76				549 件